ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会広報誌「歩くスキー第２０号（令和元年度第２回）」　令和元年１１月３０日

もっとスポーツを！！いつでも、どこでも、誰でもできる

歩くスキー

広報誌は、本号で 20 号に!!

北海道歩くスキー協会　会長　丸山光徳

雪の便りが聞かれる季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

スキーを楽しみにしていらっしゃる皆様方は、雪が積もるのが待ち遠しいのではないでしょうか。協会も冬の行事について、検討を重ね、今年度の日程も決まってきたところでございます。協会主催の「道民・市民歩くスキーの集い」は、令和２年１月２６日に第４５回大会になります。たくさんの方のご参加をお待ちしています。その他の大会におきましては、万全な体制で支援や協力をしていきますので、宜しくお願い致します。

会員の皆様にお届けしてきました、本広報誌も平成２５年１０月１日の第１号が発行させてから、今号で２０号になりました。協会の行事や各大会の様子をお伝えしてまいりました。協会の広報部が中心になり編集をおこない、年間３回の発行をしてまいりました。第５号では、協会の４０周年記念行事、第１２号では、冬季アジア大会の記事などを見ることができます。これからも、皆様方に喜んでいただけるような広報誌にしていけるように努力していきます。また、皆様方からも広報誌につきまして、感想などをいただけましたら幸いです。各号につきましては、北海道歩くスキー協会ホームページでも閲覧することができますので、是非ご利用ください。

本年１１月発行の広報誌第１９号で、ご協力をいただきましたメールアドレスの登録ですが、たくさんの方にご協力をしていただき、誠にありがとうございました。メールでご連絡できるものにつきましては、これから、少しずつですがご連絡していく予定です。協会ができたとき、まだ、ワープロもほとんど普及していない時代でしたが、メールやホームページなどを通してご連絡ができるようになり、便利な時代になったと感じるとともに長い間、協会が活動してこられたことに感謝しております。

本年度の冬季事業における大会と行事等で皆様方とお会いできるのを楽しみにしておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

令和元年度　後期事業
後期集会＆懇親会

（会長挨拶）

令和元年１１月２４日（日）アサヒビール園にて、令和元年度後期事業として正会員２８名が参加し恒例の後期集会（午前１０：３０~１２：００）と懇親会（午後１２：１５~）が開催されました。後期集会では丸山会長の挨拶に続き、令和元年度後期事業計画について各運営長が紹介しました。事務局からは正会員、一般会員の現状、令和元年度助成金、寄付金、広告収入の現状につて説明や、令和元年度後期事業の出欠表の記入の依頼がありました。

企画部から札幌市地域スポーツ指導者活用事業の一環である「中学生ＸＣスキー学習支援インストラクター事業」について、協会の事業には直接該当しないが、活動内容は「歩くスキーを普及させる」と協会の事業目的に沿っていることから、昨年度の個人的ではあるが５名のインストラクターの登録参加の実績を踏まえ、本年度も派遣依頼があることから、積極的に対応したいとの報告がありました。

（講演会）

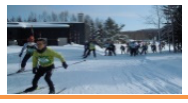
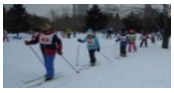
後期集会終了後、浜島名誉会長から「低体温症の防ぎ方と気象の見方（事例に即して）」についての講演があり、体験に即した安全の確保についての有意義な講演会となりました。

懇親会では、アサヒビール園ロイン亭でバイキングの食事をしながら今シーズンへの意気込みを皆さんと大いに歓談しました。

（懇親会）

令和元年度後期事業（冬季行事）カレンダー（令和元年１１月～令和２年月）

問合せ先：NPO 法人北海道歩くスキー協会事務局　TEL/FAX：(011) 532-7160
ホームページ：http://h-arukuski.sakura.ne.jp　メール:h_arukuski@yahoo.co.jp

No.	月日（曜日）	事業名	会場	いつでも、どこでも、だれでも歩くスキー
1	R1.11.24（日）	後期集会	アサヒビール園	
2	R1.12.7（土）	第１４回救命救急講習会	市民活動プラザ星園２階 中会議室	
3	R1.12.22（日）	令和元年度クロスカントリー スキー講習（有料）	滝野公園「つどいの森」	
4	R2.1.11（土）、 1.18（土）、 1.25（土）、 2.１（土）	令和元年度初めての歩くスキー ″滝を見に行こう″	滝野公園 「滝野公園渓流ゾーン」	
5	R2.1.12（日）	第４０回障害者歩くスキーの集い	滝野公園渓流コース	
6	R2.1.26（日）	第４５回道民・札幌市民 歩くスキーの集い	滝野公園「常設コース」	
7	R2.2.2（日）	第４０回札幌国際スキー マラソン大会	札幌ドーム特設コース	
8	R2.2.2（日）	第４１回石狩浜歩くスキー＆ かんじきウオーキングの集い	石狩市体育協会 石狩浜	
9	R2.2.8（土）、 2.9（日）	第８回スノーデュアスロン 北海道 2020	滝野公園「常設コース」 花サイクルクラブ	
１０	R2.2.11（火祝）	野幌森林公園スノーハイキング	野幌森林公園	
１１	R2.2.23（日）	2020 道新 Jr 歩くスキー教室 in 中島公園	中島公園	
１２	R2.2.24（月休）	第３６回滝野公園歩くスキー大会 兼第６回滝野公園クロス カントリースキー記録	滝野公園「常設コース」	
１３	R2.3.15（日）	令和元年度春山スキーハイキング	札幌市郊外の山	
１４	R2.5.24（日）	令和元年度　環境保護講座	滝野公園	

尚、ニセコ連峰歩くスキー大会は昨年度第３７回大会で終了となりました。

協　会　ニ　ュ　ー　ス

令和元年度　前期事業

旧千歳線探訪ウォーキング

令和元年８月１８日（日）９：００～１４：００、地下鉄白石駅～環状道り夢の橋～旧月寒駅跡～大谷地虹の橋～厚別南公園（旧上野幌駅跡）～国道２７４号～湯処ほのか温泉、約１０．３ｋｍを経路として開催されました。天候は曇り時々晴れ、参加人員は１７名でした。

（参加メンバーの集合写真）

準備体操後出発しました。旧千歳線サイクリングロードは東札幌～北広島迄で白石区は「ふれあいロード」厚別区は「陽だまりロード」、北広島市区域はエルフィンロードと呼ばれ今回は白石区と厚別区の１０．３ｋｍを全員が完歩致しました。

（健脚ウォーキングで完歩）

旧国鉄千歳線の跡地を利用した当コースは深緑の並木に囲まれ野鳥がさえずり道路端の花壇には色とりどりの花がきれいに咲いていました。そんな中を多くの市民がウォーキングやジョギング、サイクリングをして汗を流していました。

又多くの公園の一つに厚別南公園は、旧国鉄千歳線の上野幌駅跡地に作られた公園で駅舎があった小高い丘には駅のシンボルだったイチイの木が今も残り、美しい花や緑に囲まれていたという往時の面影を偲ばせていました。

初めて参加した７０代の男性は「沢山のトンネル内には、モザイクタイルアートがあり、地域住民が協力して制作した不揃いのタイルは素朴なぬくもりがありました。又景色を眺めたり、会話をしたり、とても楽しかったです」と笑顔で話していました。

（話も弾む昼食会）

湯処「ほのか」に到着後はお楽しみの温泉入浴で汗を流し疲れを癒しました。昼食会ではビール等を飲みながら親睦を深め、三々五々解散しました。

中央区「円山」登山

令和元年９月２９日（日）、地下鉄円山公園駅バスターミナルへ集合、札幌市中央区「円山」（標高２２５ｍ）に登りました。

コースは地下鉄円山公園駅（９：４５）～円山登山口（円山大師堂　１０：００）～山頂（１０：４０）、下山（１０：５５）～円山動物園裏（１１：２０）に到着し、円山動物園で昼食をとった後、園内を見物しました。天候は曇り～雨～晴れ、気温１８℃（登山口で）と変わりやすい初秋の一日でした。

（円山山頂で）

参加人員は１２名で、円山は、藻岩山、三角山と並んで、年間を通して健康のため登る人が絶えない山で、登りは八十八ケ所コース、下りは動物園コースを歩きました。

家族連れも多くみられ、３歳くらいの子供がお父さんと手をつないで頑張っている姿が微笑ましく、参加者からは「ガンバレ」の掛け声が出ていました。

約４０分で頂上。天気予報では「曇り」だったのに、歩き初めにはパラパラと降り出し、樹木のない頂上では、大粒なってきて、記念写真を１枚撮り、一路、動物園に向け下山しました。

（動物園での昼食）

動物園にたどり着くと、雨は嘘のように上がり、青空が見えてきました。参加者からは「雨男」は誰だとの声が出ていましたが、雨男は誰だったのでしょう？

円山動物園には、初めてとか、何十年ぶりとかの参加者も多く、昼食後は、新しくなった「ゾウ舎」「ホッキョククマ館」などを童心に帰って楽しく見学しました。

下山途中、先頭が掲げる「歩くスキー協会の旗」を見た女性登山者から「２～３年前一緒に信濃神社に行きました」と声をかけられてびっくりしました。世の中広いようで狭いものだと思いました。今回、「円山原始林」として天然記念物に指定されている円山に登りましたが、札幌のような大都市の都心近くにこのような原始林が残されていることはとても珍しいということで、大切に守り伝えていかなければならないとの思いを新たにしました。

会　員　の　広　場

私と山スキー

北海道歩くスキー協会　顧問　芳賀孝郎

私は札幌へ移住して８年を迎えた。毎年冬になると仲間と共に山スキーを楽しんできた。これは誠に幸せなことであり、大自然の山と雪そして仲間に感謝している。私の山スキーは東京から持ってきた古いスキー道具で始まった。古いスキーを得意として始めた山スキーは、最先端の山スキーヤーから見ると誠にお粗末なことであった。ベテラン山岳ガイドのアドバイスに従い、私の劣化した体力とクラッシックなスキー技術を補うため、無理して高価な最新型のスキー、ブーツ、金具、シール、ポール等を新調した。しかし特別上手にはならないが、仲間に迷惑をあまりかけない状態になったのである。

そのお蔭で、東京で想像していた夢が叶い、私はニセコの山々、朝里岳、白井岳、十勝岳、旭岳等の斜面にシュプールを描くことが出来た。私の家は札幌・荒井山ジャンプ台の裏側にある。新雪が降った日には家の前からスキーを

（シュプールを描く）

履き、荒井山まで車道を一気にすべりおりて行く。

途中小学生から「お爺さん、道路でスキーするのはいけないよ」と注意されることもある。滑り降りると５分で荒井山に到着する。新雪に覆われた斜面を見上げると、私の心は滑る期待の感情が上がってくるのである。２０年前まで荒井山は市民スキー場であった。このスキー場は札幌でも古く、１９３０年（昭和５年）第１回宮様スキー大会が開催されたスキー場であった。

１９９０年代の経済不況でスキー人口は急激に減少したことで、２０００年にリフトは外されスキー場ではなくなってしまった。現在は隣の大倉山小学校の校庭の一部になっている。新雪が降ると誰も居ない最高のゲレンデとなる。１５分くらいかけてゆっくり登り着く。

札幌市街を眺めてから滑り降りる。滑り降りると、新雪に描いたシュプールを見上げて問題点をチェックする。自己満足してまた登り始める。途中１回休み呼吸を整えからまた登ぼる。頂上に着いたらすぐに方向を決めて滑り降りる。３回繰り返して家に帰る。午前中のスキーは終了する。

新雪が降ったので勇んで荒井山に行くと、斜面はスノーボードのスプールが無数にあった。荒井山はもう私一人のスキー場ではないと知った。近頃寒い日の朝、早起きは辛くなった。荒井山での新雪スキーは、悲しいかな無理になったと思う。

郊外への山スキーへ行くときは朝早く仲間が迎えに来る。やせ我慢して出かけるのである。車中で、荒井山でのスプールを頭に描いている。ところが、シールを付けて２時間の登り、滑り出すと最初は快適である。しかし次第にスピードコントロールが出来ず、コースとりが悪くなり転倒する。

深雪では一人で起き上がることが出来ない。二人がかりでようやく立ち上がる。仲間にお礼を述べ、呼吸を整えてから滑り降りる。転倒が２度以上続くと、自分の体力、気力も衰えを感じる。山スキーは８５歳が限度と思うこの頃である。

２０１９年３月記

（事務局からのお知らせ）

○会員募集のお知らせ

ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会では広く会員（年会費２，０００円）を募集しています。夏季はウォーキング、札幌市近郊軽登山、植物観察会等、冬季はクロスカントリースキー講習会、道民・札幌市民歩くスキーの集い、春山スキーハイキング等を実施しています。

特に歩くスキーについて親切にご指導致します。是非ご紹介等お願い致します

○令和元年度　寄附金・広告協賛金（ご協力ありがとうございました。）　　令和元年１１月３０日現在

月　日	種　　別	内　　容	備　　考
6　16	寄　　付　　金	立花　勤様	
10　15	助　　成　　金	（公財）北海道地域活動振興協会	道新 Jr 歩くスキー教室

○会費納入のお願い

令和元年度個人会員会費の未納者が７名程います。もしお忘れの方は納めて頂けるようお願い致します。

NPO法人　北海道歩くスキー協会
〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74　市民活動プラザ星園　405号室
電話/FAX:(011)532-7160
勤務日・業務日　夏季:５月１日～10月31日　火、金、土曜日　　時間:10 時～17 時
冬季:11月１日～4月30日　火、水、金、土曜日　時間:10 時～17 時
ホームページ　：　h-arukuski.sakura.ne.jp
メール　：　h_arukuski@yahoo.co.jp
郵便為替、口座記号番号:02740-8-100335　特定非営利活動法人北海道歩くスキー協会